（第1面）
$2-124-01$

## 産業廃棄物処理計画書

埼玉県知事


廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 9 項の規定に基づき，産業廃棄物の減量その他 その処理に関する計画を作成したので，提出します。

|  | 業 場 の 名 称 | S R C 建設 株式会社 |
| :---: | :---: | :---: |
|  | 業場の所在 地 | 埼玉県内各所（さいたま市，越谷市，川越市，川口市を除く） |
|  | 画 期 間 | 令和 5 年 4 月 1 日 |
| 当該事業場において現に行っている事業に関する事項 |  |  |
| （1）事 業 の種 類 |  | D 07 職別工事業（設備工事を除く） |
| （2）事業の規模 |  | 完成売上高 4，570万円（前年決算期実績） |
| （3）従 業 員 数 |  | 36 |
| （4）産業廃棄物の一連 の処理の工程 |  | - 廃プラスチック類 •混合廃棄物 <br> - 紙くず・石綿含有産業廃棄物 <br> - 木くず・繊維くず・金属くず <br> - ガラスくず・陶磁器くず <br> - コンクリート破片・がれき類 ※処理業者へ委託 <br> （1）排出事業者 $\rightarrow$ 収集運搬業者 $\rightarrow$ 中間処理場 $\rightarrow$ 最終処分場 <br> （2）排出事業者 $\rightarrow$ 収集運搬業者 $\rightarrow$ 積替え保管施設 $\rightarrow$ 収集運搬二次委託 $\rightarrow$ 中間処理場 $\rightarrow$ 最終処分場 |

（第2面）

（第3面）

（第4面）

| 自ら行ら産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項 |  |  |  |
| :---: | :---: | :---: | :---: |
| （1）現状 | 【前年度（ 年度）実績】 |  |  |
|  | 産業廃钼物の種類 |  |  |
|  | 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃軬物の量 | t | t t |
|  | （これまでに実施した取組） |  |  |
| （2）計画 | 【目標】 |  |  |
|  | 產業廃㙖物の種類 |  |  |
|  | 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行ら産業廃重物の量 | t | t t |
|  | （今後実施する予定の取組） |  |  |
| 産業廃棄物の処理の委託に関する事項 |  |  |  |
| （1）現状 | 【前年度（ 4 年度）実績】 |  |  |
|  | 産業廃妄物の種類 | 別紙2集計表参照 |  |
|  | 全処理委託量 | t | t t |
|  | 優良認定处理業者への処理委託量 | t | t t |
|  | 再生利用業者への処理委託量 | t | t t |
|  | 認定熱回収業者への処理委託量 | t | t t |
|  |  | t | t t |
|  | （これまでに実施した取組） <br> 解体現場での分別を丁寧に行う |  |  |


| （2）計画 | 【目標】 |  |  |
| :---: | :---: | :---: | :---: |
|  | 産業廃忘物の種類 |  |  |
|  | 全処理委託量 | t | t |
|  | 隻良譔定処理業者への処理委託量 | t | t |
|  | 再生利用業者への処理委託量 | t | t |
|  | 認定熱回収業者への処理委託量 | t | t |
|  | 認定鷘回収業者以外の熱回收を行ら業者への処理委託量 | t | t |
|  | （今後実施する予定 <br> 引続き現場での分 | 源 |  |
| ※事務処理欄 |  |  |  |

## 備考

1 前年度の産業廃棄物の発生量が 1,000 トン以上の事業場ごとに 1 枚作成すること。
2 当該年度の6月30日までに提出すること。
3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は，以下に従って記入すること。
（1）①欄には，日本標準産業分類の区分を記入すること。
（2）（2）欄には，製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績），建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績），医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
（3）（4）欄には，当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまで の一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は，委託の内容を含む。）を記入すること。

4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には，産業廃棄物の種類ごとに，自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と，自ら中間処理を行うことによって減量した量について，前年度の実績，目標及び取組を記入すること。

5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には，産業廃棄物の種類ごとに，全処理委託量 を記入するほか，その内数として，優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第 6 条の 11 第 2 号に該当する者）への処理委託量，処理業者への再生利用委託量，認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）であ る処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者 への焼却処理委託量について，前年度実績，目標及び取組を記入すること。

6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは，当該欄に「別紙のと おり」と記入し，当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また，産業廃棄物の種類が 3 以上あるときは，前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し，当該欄に記入 すべき内容を記入した別紙を添付すること。また，それぞれの欄に記入すべき事項がないときは，「—」を記入すること。

7 ※欄は記入しないこと。


## 蓙紊革亲物処理計画書 別䂒2集計麦



